

近畿中国森林管理局

箕面森林環境保全ふれあいセンター・こだま通信

箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

小・中学校等の先生への森林環境教育支援活動を次々と実施！

～森林環境教育セミナーの開催～

8月22日(火)、箕面国有林において、箕面市等の小・中学校の初任の先生等(24名)を対象とした「森林環境教育セミナー」を開催しました。このセミナーは、学校教育における森林環境教育の導入を推進することを目的として、箕面市教育委員会との共催により、京都大阪森林管理事務所の協力を得て行ったものです。

内容は、山下宏文氏(京都教育大学教授)による「森林環境教育の重要性と進め方」をテーマとした講義のほか、野外ゲームや間伐作業体験、丸太切り・木工クラフト作りなど、実際の体験を重視するプログラム構成としました。

参加した先生からは「環境問題は非常に重要であり、特に森林環境教育は重要だ」「2学期からの授業に生かしていきたい」などの感想が聞かれ、今後、児童・生徒に対する森林環境教育の推進が期待されます。



～豊中市初任者研修の実施～

8月3日(木)、豊中市少年自然の家において、豊中市の小・中学校の初任先生(98名)を対象とした森林環境教育支援活動を行いました。これは、森林環境教育を推進する上で重要な役割が期待される小・中学校の先生の森林への理解を深めるため、豊中市教育委員会の初任者研修の一環として実施したものです。

当日は、里山での森林生態系についての講義「能勢のお山の台場クヌギとオオクワガタ」のほか、様々な木工クラフト作りを行いました。

教育委員会の担当者からは、「自然物を生かし、ノコギリ等を用いて製作する経験が少ないため、指導者として体験しておく必要性を痛感しました」などの意見が寄せられ、教育機関においても、森林環境教育を進める上での森林体験活動の重要性が認識されるようになってきました。



森林ボランティアの名人(マイスター)を目指して、猛暑の中奮闘中！

～森林ボランティアマイスター養成スクール開講中～

森林ボランティア活動が活発となってきたことから、当ふれあいセンターでは、6月から15名を対象として、森林ボランティアの名人(マイスター)を養成するためのスクールを開講しています。

いよいよ7月から、箕面国有林をフィールドとした野外実習をスタートしました。7月30日(日)には、「安全プログラムの作成」及び「造林作業(下刈)」、8月20日(日)には、「森林地図の見方」、「生物の多様性」及び「森林の生態」について、炎天下の中、真剣に学んでいました。

今後は、「森林資源を活用した循環型社会システムの構築」及び「森林整備と木材利用の必要性」などをテーマにしたカリキュラムや「チェーンソーを使った間伐」及び「間伐材を活用したベンチ作りや歩道整備」などの実習を予定しています。



小～大学生を対象に「身近な森フォトコンテスト」作品大募集中！(詳しくは下記 URL をご覧下さい)



近畿中国森林管理局 箕面森林環境保全ふれあいセンター

TEL:075-414-9049 / FAX:075-414-9029

URL:<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp>

〒602-8054 京都市上京区西洞院通り下長者町下ル 京都農林水産総合庁舎1F

